

みなみ力
で
はぐくむ

京都市南区基本計画
(2021-2025)

南区

みんなが住みやすいまち



市長・区長あいさつ
原稿未着

もくじ

第 1 章 南区基本計画策定に当たって

南区基本計画策定の背景	4
基本計画の策定に当たって	5
基本計画の位置付け	5

第 2 章 南区の概要

位置と地勢	6
南区の人口	7
南区の特徴	8
南区の現状と課題	10

第 3 章 めざす未来像と取組

めざす区の未来像	12
みなみ力（地域力）が息づくまち	14
子ども・若者が育つまち	16
健やかに暮らせるまち	18
活力あふれるまち	20
文化芸術でつながるまち	22
いのちと暮らしを守るまち	24
美しく環境にやさしいまち	26

第 4 章 計画の推進に向けて

区民と行政・事業者等との協働による取組	28
南区新総合庁舎の整備に向けた検討	29
京都市の厳しい財政状況	30
区民意見を踏まえた計画策定	31
パブリックコメントの結果	34
南区基本計画の策定経過	35
南区基本計画策定委員会 委員名簿	35

第 1 章 南区基本計画策定に当たって

南区基本計画策定の背景

少子化や長寿命化に伴う南区に居住される方の世帯構造の変化，コミュニティの変化，地域社会の国際化の進展，集中豪雨や巨大台風の新たな自然災害の脅威の増加等，社会状況が刻々と変化しています。

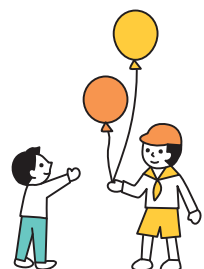
また，この間の新型コロナウイルス感染症の拡大が，市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしており，ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据えた取組が求められています。

本市においても，元々の脆弱な財政基盤に加え，新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響もあり，財政状況がこれまでに経験のない危機的な状況にあることから，抜本的な改革を実施しなければ今までどおりの行政サービスを維持できなくなる可能性が出てきています（P30参照）。



このような状況のもと，区民の皆様方や各種団体，企業と区役所をはじめとした関係機関が一体となって，危機感を共有しつつも，若者・子育て世代の定住促進等明るい未来を展望して，「持続可能なまちづくり」を進めていくための指針として「南区基本計画」を策定します。

【目標年次】本計画の目標年次は，策定から5年後の2025年（令和7年）です。



基本計画の策定に当たって

これまでの基本計画（第1期及び第2期）を踏まえつつ、様々な分野に知見をお持ちの方で構成された「基本計画策定委員会」の御意見や区民の皆様方へのアンケート，計画素案に対するパブリックコメントを区内の中高生をはじめとした，市民の皆様方に広く募集しました。その結果等を反映させた計画として策定します。

また，自然災害や新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に対応するレジリエンス（様々な危機からの回復力，復元力，強靱性）の重要性の高まり，誰一人取り残さない「持続可能な開発目標（SDGs）」の国連での採択等の時代潮流を踏まえた計画としています。

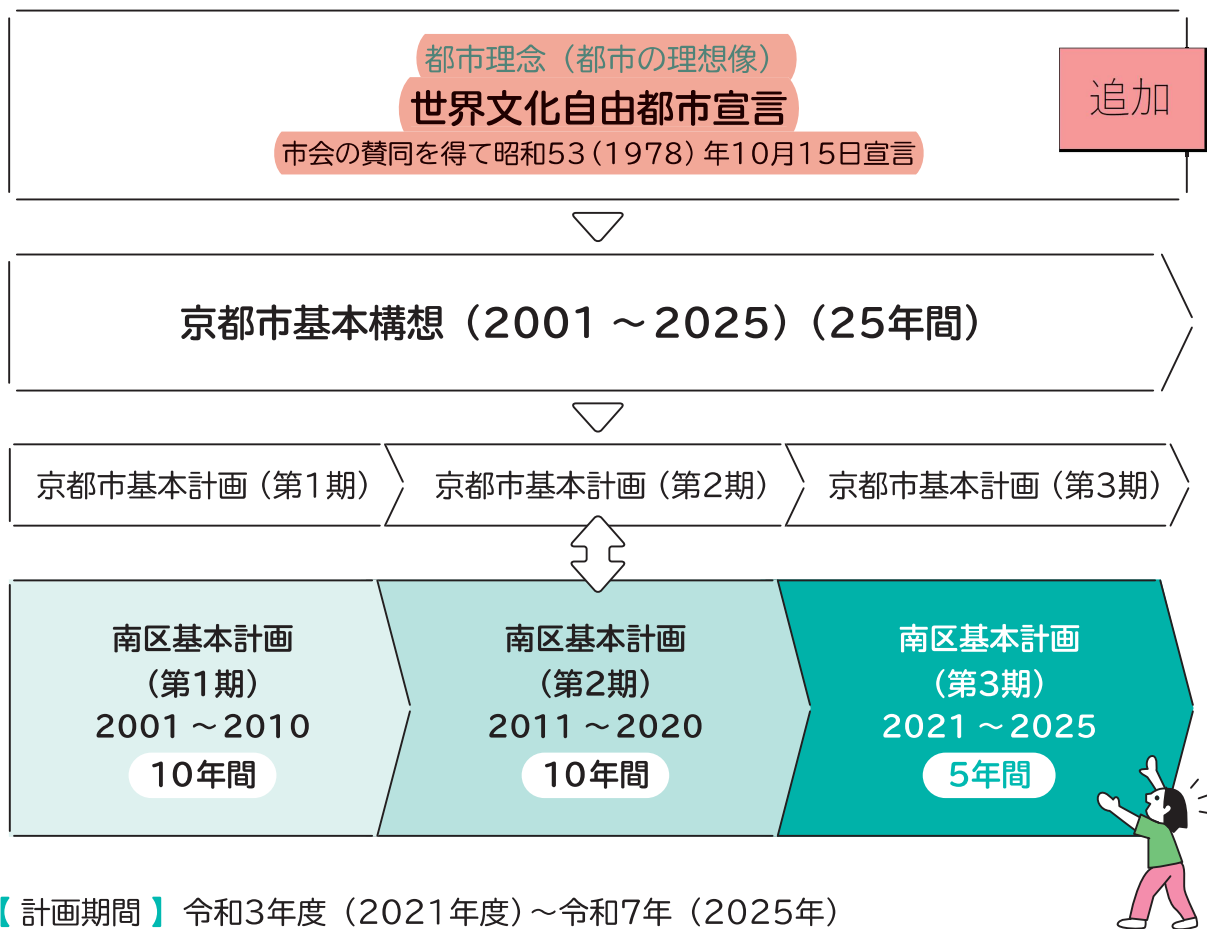
アンケート
約2,700件
詳しくは
P31～33



パブリック
コメント
約690件
詳しくはP34



基本計画の位置付け

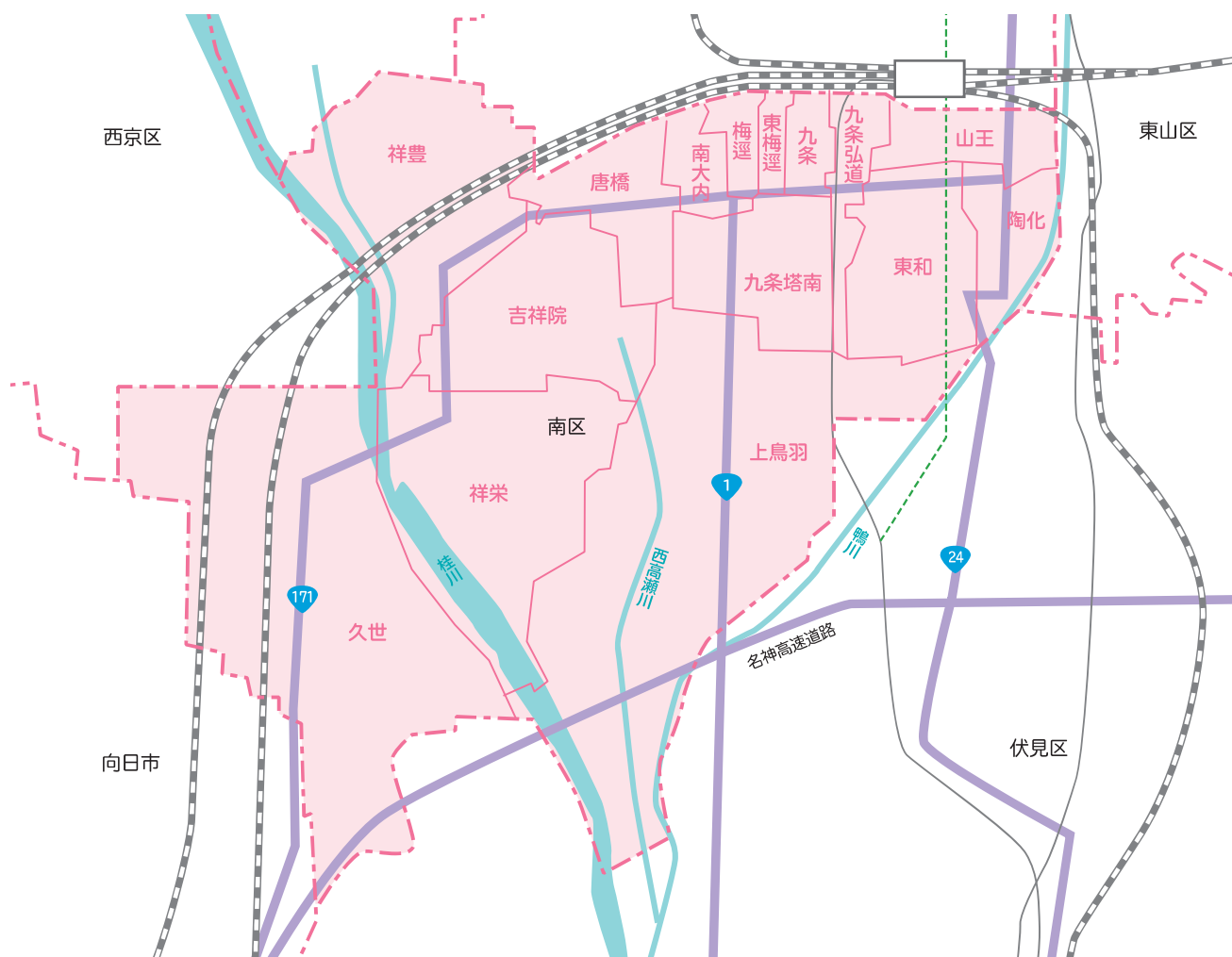


※京都市の全体の計画である「京都市基本計画（第3期）」と相互に補完しながら，計画を推進します。

第2章 南区の概要

位置と地勢

南区は、京都市の南西部に位置し、東は東山区・伏見区、西は西京区・向日市、北は下京区・右京区、南は伏見区に接しています。区内は15の学区から構成されています。



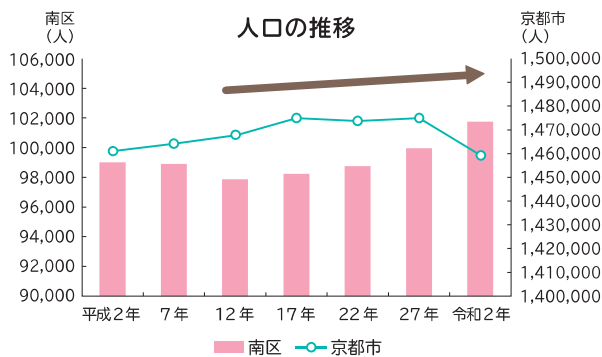
南区の人口

南区は、世帯数は約5万世帯、人口約10万人が暮らしており、京都市全体の人口が減少傾向にあるのに対して、南区は世帯数、人口ともに増加傾向にあります。

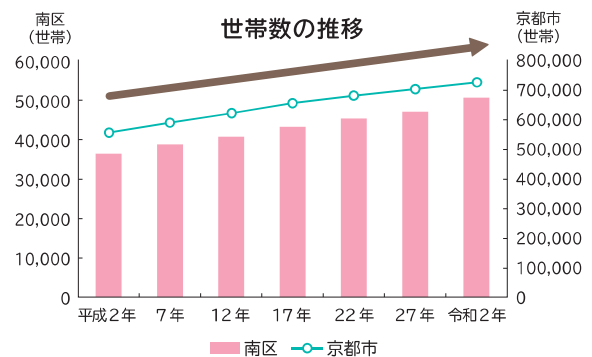
京都市と南区の人口ピラミッドを比較すると、南区は「15～24歳」の割合が低い一方で、「25～39歳」の割合が多い傾向にあります。

人口動態について、南区では、平成7年～16年頃までは自然増よりも社会減が上回っていましたが、平成17年以降は自然減よりも社会増が上回る傾向であることが分かります。

人口及び世帯数の推移

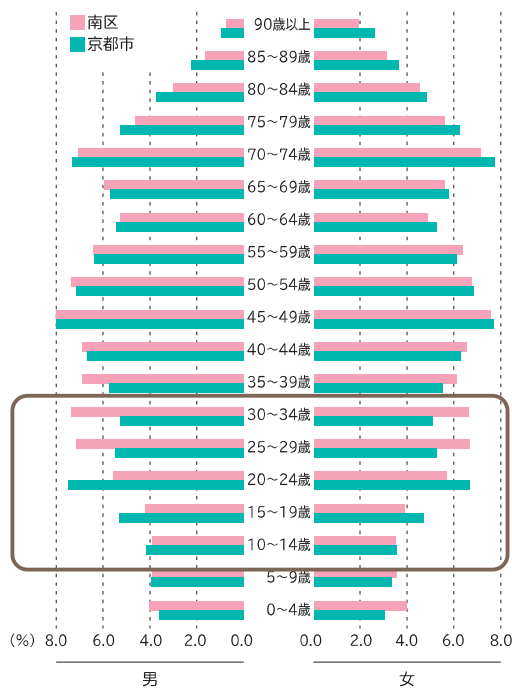


出典：平成2年～平成27年：国勢調査、令和2年：京都市推計人口



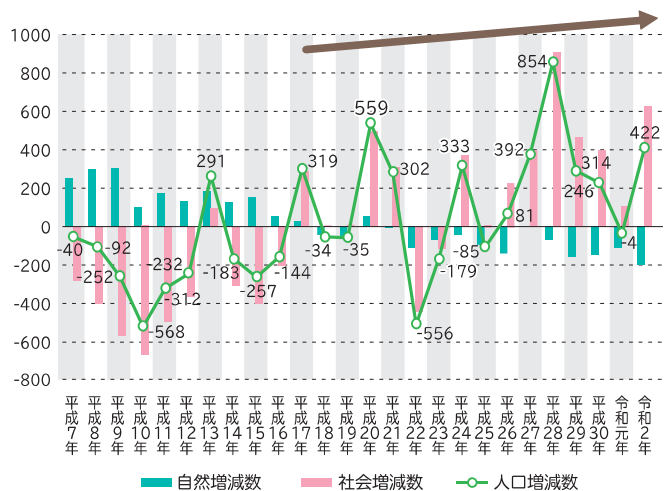
出典：平成2年～平成27年：国勢調査、令和2年：京都市推計人口

人口ピラミッド (令和2年)



出典：京都市推計人口

人口動態



出典：京都市統計資料



南区の特徴

地域の結びつきが強いまちです

南区は、人と人との強い結びつきや活発な地域活動がある等、南区ならではのみなみ力（地域力）をしっかりと受け継いできたまちです。毎回約4,500人もの区民が参加される年4回の「南区一斉清掃」による美化活動、各学区における子どもの見守り活動や防災訓練の実施等、地域一丸となった取組が定着しています。



南区一斉清掃



南区民ふれあいまつり



避難所体験研修

地域ぐるみで子どもを育むまちです

南区は、住民全体での子育ての取組が先進的に実施される等、地域ぐるみでの子育て支援の風土がしっかりと根付き、受け継がれているまちです。令和元年も合計特殊出生率が1.49と、全国平均・京都市平均を上回り、11行政区中1位です。



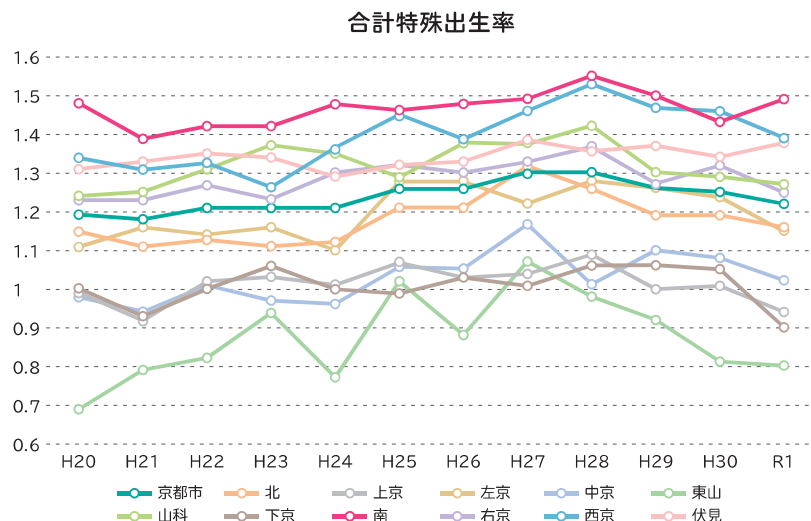
ふれあいトーク



子育て支援ルーム
「すくすくみなみ」



上鳥羽子どもあんしん
あんぜんパレード



出典：厚生労働省「人口動態統計」住民基本台帳

ものづくりのまちです

南区は、主要幹線道路や名神高速道路インターチェンジ等を有し、交通の利便性等から、多くの職種の企業が集積する「ものづくりのまち」です。

特に製造業は、事業所・従業者ともに京都市で1番多く、「ものづくりのまち・京都」を支えています。



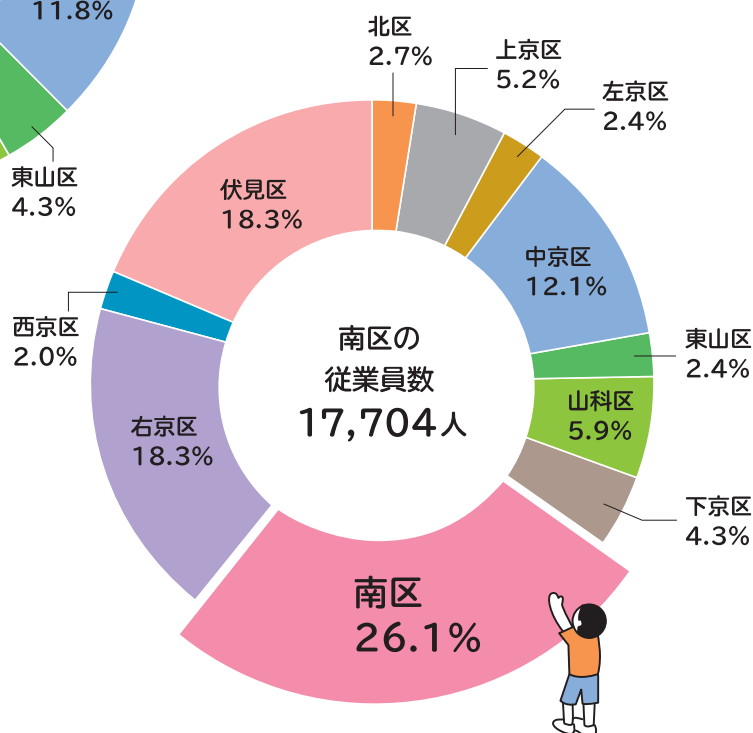
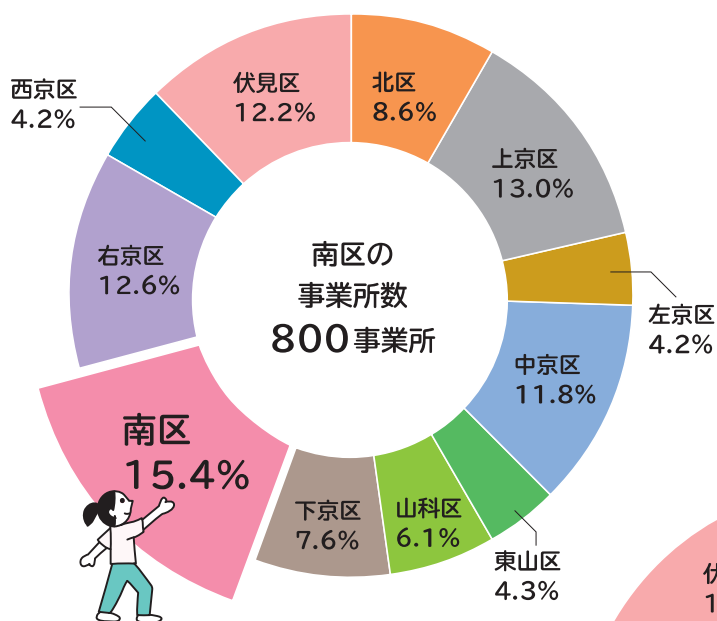
企業見学等を通じた区民と企業の交流



らくなん進都のまちづくり

<製造業> 事業所数及び従業員数

出典：平成28年経済センサス活動調査



南区の現状と課題

みなみ力（地域力）

- 京都市全体の人口が減少傾向にあるのに対して、南区は近年、20～30歳代の比較的若い世代を中心に、他地域からの転入が転出を超過しており、人口・世帯数ともに増加傾向にあります。自治会・町内会への加入率は年々低下しています。
- また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、自治会等の会合や地域活動が制約される一方、自宅や地域で過ごす時間が増加しています。
- このような中、住民同士の幅広い交流を促進し、みなみ力（地域力）を若い世代に引き継いでいく取組が必要です。

子育て・若者育成

- 南区は、比較的若い世代の人口流入により、合計特殊出生率は11行政区の中で長年上位で、子どもの出生数も横ばいを維持しており、他の行政区と比べると5歳未満の人口の割合が高いことも特徴となっています。
- そのため、次世代を担う子どもたちを健全に育むため、また子どもたちや子育て世代が「南区で住み続けたい」と思ってもらえるように、子どもたちを取り巻く環境づくりや子育て世代への支援が求められます。

健康・福祉・人権

- 南区の令和元年の高齢化率は約26%と、他の行政区と比べると低い水準ではあるものの高齢化が進んでいます。
- お年寄りや障害のある方をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしていけるような環境づくりと、支援が必要です。
- 世界各国から様々な人々が集まってきている状況を踏まえ、多様な方々の人権に配慮できるよう一人ひとりが心掛けていく必要があります。



産業(企業・農業)・観光・公共交通

- 主要幹線道路や名神高速道路インターチェンジ等を有する交通利便性を活かして、幅広い業種の企業が集積し、近年は製造品出荷額等も増加傾向にある等、「ものづくりのまち」となっています。その特徴を更に生かし、区民と企業の連携を力に、産業を活性化していくことが求められます。
- 九条ねぎに代表される農業も、南区の主要な産業ですが、徐々に宅地化が進んでおり、住環境と産業環境との調和のとれたまちづくりが求められます。
- 世界遺産である東寺があり、全世界から来訪がありますが、今後は、地域の伝統文化や歴史、美しい自然等の地域資源を生かした観光も大切です。

「全世界から集客があります」から修正

文化芸術・文化遺産・多文化共生

- 近年、南区に住む外国籍市民は増加傾向にあります。国籍も以前に比べて様々な国籍を持つ外国人が増えてきています。
- 様々な国籍の外国人との相互交流できる機会の増加は、多様な文化の交流を促進し、新たな文化や芸術を生み出す可能性があります。
- 京都市では、平成28年度に「京都駅東南部エリア活性化方針」を策定し、「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりが進められています。

安心安全・防災

- 近年は集中豪雨や巨大台風等自然災害が激甚化しており、桂川や鴨川の氾濫等を想定した防災対策が必要となっています。
- また、新型コロナウイルス等新たな感染症の下での大規模災害発生等、複合的な危機を想定した対策が求められます。
- 10年前に比べて刑法犯認知件数は約7割と大幅に減少しています。
- まち中では空き家が増加しており、管理が不十分な場合、住民にとっては環境面や防犯面での課題となってくる可能性があります。

追加

環境・景観・緑化・まちの美化

- 南区では、年4回「南区一斉清掃」を実施する等、環境やまちの美化に対する区民の意識は高く、これらの意識や取組を新しく区内に居住された方や若い世代に伝えていくことが必要です。

第3章 めざす未来像と取組

めざす区の未来像

まちづくりの原動力となる、地域での人と人との結びつきや活発な地域活動といった南区ならではの“みなみ力（地域力）”を南区の基本計画の基盤として位置付け、「みなみ力（地域力）が息づくまち」をすべての未来像として、7つの未来像を描きます。



みなみ力
(地域力)が
息づくまち

人と人の結びつきを更に活発に

- 取組方針 ① みなみ力（地域力）を支える人づくり
② みなみ力（地域力）を活性化させる仕組みづくり

子ども・
若者が
育つまち

地域ぐるみで子ども・若者を大切に

- 取組方針 ① 子ども・若者と育ち合う地域づくり
② 安心して子育てができる環境づくり

健やかに
暮らせる
まち

誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに

- 取組方針 ① 人生100年時代を見据えた健康づくりの推進
② 高齢者が生き生きと暮らせるまちづくり
③ 「誰一人取り残さない」環境づくり
④ すべての人の人権が尊重されるまちづくり

活力
あふれる
まち

地域資源を活かしたにぎわいを創出

- 取組方針 ① まちの活力を支える地域企業・中小企業の活性化
② 暮らしを支える地域商業の活性化
③ 地元産京野菜を活かした農業の活性化
④ 市民生活と調和のとれた観光振興
⑤ 公共交通ネットワークの充実

文化芸術で
つながる
まち

あらゆる場所と文化芸術をつなぐ拠点に

- 取組方針 ① 多文化共生のまちづくり
② 文化芸術が生まれ、広がるまちづくり
③ 文化遺産を大切にするまちづくり

いのちと
暮らしを
守るまち

子どもからお年寄りまで誰もが安心・安全に

- 取組方針 ① 災害に強いまちづくりの推進
② 安心・安全で快適な環境づくり

美しく
環境に
やさしい
まち

豊かな自然に親しむとともに環境と共生する

- 取組方針 ① 区民も来訪者もみんなで取り組む美しいまち
② 地球環境にやさしい取組の推進
③ 緑化の推進・公園の活用
④ 地域の特徴を生かした調和のとれたまち

みなみ力（地域力）が息づく

南区では、「地域での人と人との結びつき」や「活発な地域活動」といった南区ならではの“みなみ力（地域力）”を活かしながら、住み良いまちづくりを進めてきました。

このまちづくりの原動力となる“みなみ力（地域力）”がしっかりと次の世代に受け継がれ、幅広い世代が「住んでいてよかった・住み続けたい」と感じられる、魅力や活力のある持続可能なまちを目指します。

取組方針

① みなみ力（地域力）を支える人づくり

近年、ライフスタイルの変化等、様々な要因によるつながりの希薄化や、高齢化等による地域の担い手不足が顕在化してきています。その中でも、まちづくりのすべての原動力となるみなみ力（地域力）を維持していくため、育まれてきた地域への愛着・誇りを次世代へ継承するとともに、オール南区で、まちづくりの新たな担い手の育成を推進します。



自治会・町内会への加入促進

主要な
取組例

- 自治会・町内会への加入促進による安定した基盤づくり
- 地域への愛着・誇りのさらなる醸成と次の世代への伝承
- 地域行事やコミュニティ活動等を通じた新たな担い手の育成
- 地域・学校・行政等の連携による多世代間の区民交流
- 地域活動ボランティアの育成に向けた取組の実施 等

まち



取組方針

② みなみ力（地域力）を活性化させる仕組みづくり

子どもから高齢者まで世代を超えて積極的な交流を図ることにより、みなみ力（地域力）を活性化させる仕組みづくりを推進します。



南区民ふれあいまつり



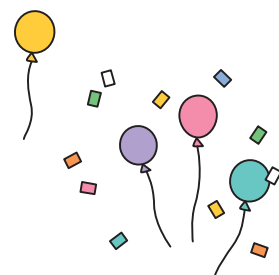
学区民体育祭

主要な
取組例

- 区民、各種団体、NPO等の地域主体によるまちづくり活動の充実
- 地域行事やコミュニティ活動へ参加しやすくなるきっかけづくり
- みんなが交流できる文化活動・生涯学習・スポーツ活動の推進
- あらゆる世代に向けた地域情報の発信とその共有による交流
- 円滑な活動を支えるICT（情報通信技術）ツールの導入推進
- 真のワーク・ライフ・バランスの推進※ 等

※真のワーク・ライフ・バランス…仕事と家庭生活の調和に加え、地域活動や社会貢献活動に積極的に参加することで、誰もが生きがいと充実感を持って、心豊かな人生を送ることができる考え方

追加



子ども・若者が育つまち

南区では、他の行政区に先駆け、地域ぐるみでの子育て支援の風土がしっかりと根付き、今も地域の隅々まで脈々と受け継がれています。

この風土を絶やさず、すべての子ども・若者・子育て家庭が地域ぐるみで大切にされ、ともに育ち合うまちを目指します。

取組方針

① 子ども・若者と育ち合う地域づくり

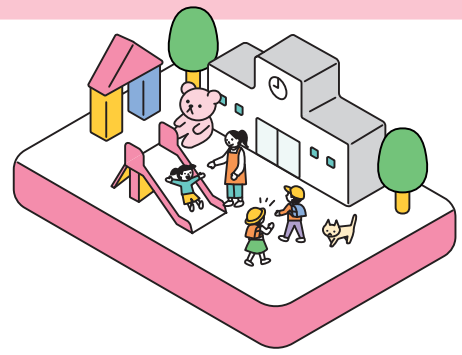
次世代を担う子どもや若者の学び・成長を地域ぐるみで支え活躍できる環境づくりを進めるとともに、子ども・若者・子育て家庭と積極的に交流を図ることにより、その関わりから、ともに学び・成長できる地域づくりを推進します。



ふれあい（いきいき）トーク

主要な
取組例

- 子育て支援活動の促進と子どもとともに育む風土の維持・継承
- 子育て家庭や子どもの孤立防止の取組の推進
- 地域・区内企業等との連携による学生等への学びの場の提供
- 地域と学校が連携した子どもの見守り・安全対策の推進
- 地域・学校・行政等の連携による多世代間の区民交流（再掲）
- 子ども・若者の知恵と行動力が地域で発揮できる環境づくり 等



取組方針

② 安心して子育てができる環境づくり

子育て世帯と地域・行政・関連団体との連携・交流により、子どもを安心して育むことができる環境づくりを推進します。



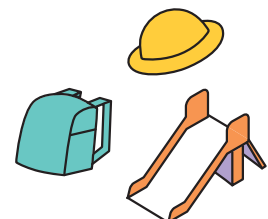
子育て支援ルーム「すくすくみなみ」



南区内のイオングループ3店舗で
開催している出張児童館

主要な
取組例

- 保育サービスの充実と子どもの居場所づくり
- 子育て支援ボランティアの育成強化やボランティア相互のネットワークの形成促進
- 子育て支援情報の発信
- 真のワーク・ライフ・バランスの推進（再掲） 等



健やかに暮らせるまち

南区では、「いのちと人権」をキーワードに、誰もがいつまでも健やかに暮らせ、誰もが主役になるまちを目指して、地域一体となって取組を進めてきました。

お年寄りや障害のある方をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちを目指します。

取組方針

1 人生100年時代を見据えた健康づくりの推進

人生100年時代を迎える中、すべての区民一人ひとりが、それぞれのライフステージや心身の状況に応じて、楽しみながら、主体的に健康づくりに取り組む環境づくりを推進します。



健康教室やラジオ体操



健康づくりサポーター「みなみ〜ず」

主要な
取組例

- 地域主体の健康づくり活動の推進
- 食育活動による健康づくりの推進
- こころの健康づくりの推進
- 保健、医療、福祉の各分野が連携し、健康づくりを専門的に支えるネットワークの充実
- あらゆる世代に向けた情報の発信とその共有による交流 等

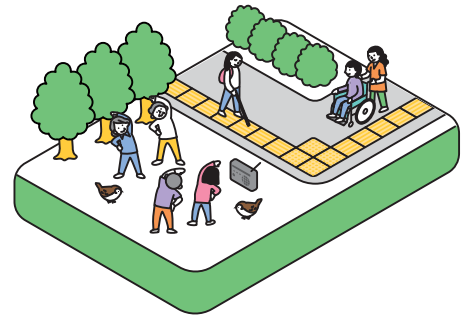
取組方針

2 高齢者が生き生きと暮らせるまちづくり

高齢化社会が更に進む中、高齢者がこれまでに培ってきた知識・経験・特技を生かし、高齢者もまちづくりの主役となり、生き生き暮らせる仕組みづくりを進めます。

主要な
取組例

- 学校、企業で高齢者の知識や経験を活かすことができる仕組みづくり
- 老老介護や一人暮らしの高齢者を地域で支える健康・見守り活動の推進
- 医療・介護・生活支援サービスの提供体制の強化
- 介護サービス等の充実 等



取組方針

③ 「誰一人取り残さない」環境づくり

多様化・複雑化する社会の中で、障害者、介護の必要な方、引きこもりの方やその家族等、支援の必要な人を地域全体で支え、誰一人取り残さない環境づくりを進めます。

主要な
取組例

- 障害者、介護の必要な方、引きこもりの方等、支援の必要な人を支える取組の推進
- 見守り・相談支援活動、居場所づくりの促進
- あらゆる人が社会参加できる環境づくりの推進
- バリアフリー化の促進やユニバーサルデザインの普及啓発活動等の実施
- 情報の発信及び共有による様々な立場の相互理解の促進 等



あらゆる人が社会参加
できる環境づくり



取組方針

④ すべての人の人権が尊重されるまちづくり

性別、年齢、障害の有無、生まれや生い立ち、国籍、民族などに関係なく、一人ひとりが人権を理解し、お互いを認め合えるまちづくりを推進します。

主要な
取組例

- 講演会や映画観賞会を通じた人権教育・啓発活動の推進
- DV（配偶者・パートナー等に対する暴力）などあらゆる暴力の根絶に向けた啓発活動の推進
- 児童虐待の未然防止・早期発見・予防啓発等、多様な関係機関が連携した取組の推進
- 感染症患者等に対する偏見や差別に対する啓発活動の推進 等

追加

「性別や国籍、民族、宗教、生まれや生い立ちに関係なく」から修正



人権映画観賞会



人権講演会